

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を部会員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	夢・街のナビゲート 大倉山コンシェルジュパーク
提案グループ名 (25字以内)	街づくりコンシェルジュ
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	<p>—大倉山つながりJAM 2012年3月～街づくりワークショップの企画・開催、 2012年4月振興会館（今回の提案場所）にて「サクラカフェ（青空1DAYカフェ）」実施。</p> <p>—大倉山街カフェミエル 2010年11月～街づくりカフェの運営、エルム通り商店会での季節イベント企画・運営サポート</p>
整備場所の所在地	<p>港北 区 大倉山2丁目</p> <p>※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p>
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	<p>「夢・街のナビゲート 大倉山コンシェルジュパーク」とは。 →街の情報の担保・伝達し、街の暮らしを楽しくする 案内人がいるスペース。街の人の夢を「街」でかなえるお手伝い。 具体的な機能・・・</p> <p>エルム商店会内に位置する「振興会館」に、地域の住人により開かれた「インフォメーションセンター」「地域の小さな舞台」としての機能を付加する整備の実施。</p> <p>現「振興会館」は「会館（建物）」＋駐車場で構成される。 「建物」→インフォメーションセンター（情報発信・地域イベントの広報・事務所・ワークショップスペースとして整備） 「駐車場」→地域のポケットパークとしてのスペースへ。 地域住民の憩いの場・子連れ親子のための遊び場・イベント時の舞台（ステージ）としての整備。</p> <p>地域住民が安心して立ち寄れる「安全」「安心」スペースとする事をベースに、他、ステージ・事務所使用する際の「機能」を備える。 子どもたちも積極的に巻き込み、共に育つ場としていく。</p> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約500 万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>

<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エルム会商店会には「養蜂」等の魅力的な活動があるが、住民に情報が届いていない。 (実際に住民の「街の活動を知らない・分からない・知る術がないと感じている」という声がある。) ・ 商店会も「広報」に対する課題を強く感じている。 ・ 地域の子育て世代は「街」に興味があるが、「関わり方」が分からない。「関わり方」がわかれば、積極的に関わっていきたいと感じている人が多くいる。(つながりJAMワークショップでの実際の声より) ・ 「地域で自分の力を発揮してみたい」という住民の想いはあるがその想いを地域で実現させる「場」や「情報」がない。
<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店会や街の魅力を地域住民に伝達 →商店へ集客・街づくりへの興味関心への喚起。 ・ 「活躍する場」の提供 →個性ある街づくりの実現、新たな出会い、地域住民同士の交流 ・ 居場所を求める幅広い世代にとっての憩いの場所。
<p>整備した施設の維持管理・運営)</p>	<p>「エルム商店会」と共に、インフォメーションセンターの維持・管理を遂行。地域女性によるコアメンバーと、ボランティアメンバーによって運営。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 <small>注4)</small> ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>○アイデア・ユニークさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる「インフォメーションセンター」ではなく「街の舞台」としての機能を付加している点。 ・ 「情報発信」だけでなく「ワークショップ(街づくりワークショップや、地域の先生による勉強会など)」「サロン」なども企画・運営を。「街を面白くする企画・情報」を自ら生み出していく点。 <p>○地域資源について。</p> <ul style="list-style-type: none"> － 「地域資源」(人) <ul style="list-style-type: none"> ・ エルム通り商店会からの協力 ・ つながりJAMワークショップ等に参加してくれる地域女性の協力 － 「地域資源」(モノ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「エルム通り商店会」の協力で、振興会館が利用可能。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
<p>エルム通り商店会会長様には、ご快諾いただいています。今後は、商店役員への説明等が今後必要となります。</p>	<p>地域住民への開かれたスペースとして、情報伝達やシニア向けサービスなどを期待。</p>

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
 記載内容に個人情報はありません。



大倉山駅から、エルム通りを3分ほど歩いたところにあります。



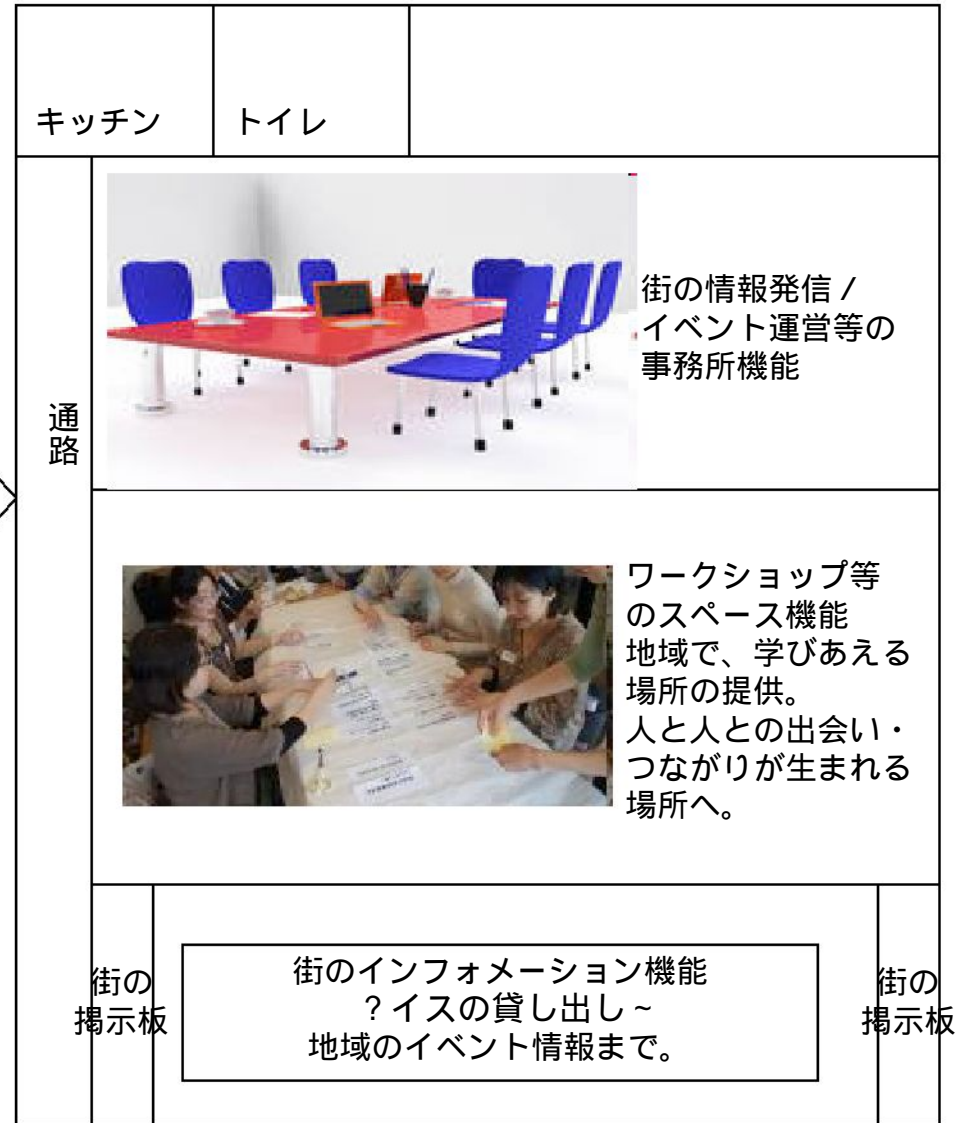
現在の振興会館内の様子

振興会館内・・・街のコンシェルジュが在籍し、街の情報機能や街づくりワークショップ等を実施します。

現況



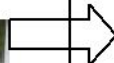
イメージ図



イメージ図 / 汎用性のあるレイアウトとし、地域の人たちと作り上げていくことを想定しています。

振興会館脇 駐？場スペース・・・街の人が活躍するイベントスペース、地域の人が憩う広場、子ども達と作り上げるクリエイティブスペース

現況

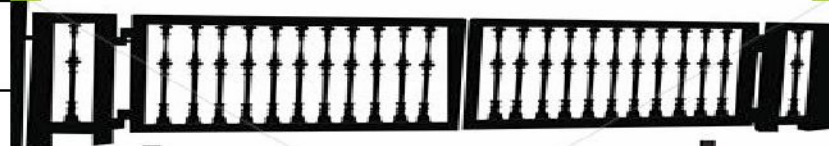


振興会館側



イベント時には、ステージや、
カフェ機能となるよう造作を設置。

全天候型となるよう、
屋根を設置、もしくは、
テント設営機能を設ける。



子ども達の飛び出し防止の門を設置。